



「ねむの花」 撮影：徳田 元

目 次

◆移転開院のご案内2	◆インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症について	...6
◆医師紹介3	◆新入職員入社式、オリエンテーションを行いました7
◆当院の診療、手術実績について4	◆脳卒中療養相談士について／新病院にもツバメの巣!!8
◆令和4年度 セーフティマネジメント部会の活動報告	...5	外来診療予定表8

医療法人秋津会

〽 理念 〽

地域と共生し、活力ある医療をめざします。

〽 基本方針 〽

- 一、脳疾患の急性期医療を充実させ地域住民の救急救命に貢献します。
- 一、地域医療連携を深め患者様の社会生活・在宅復帰を支援します。
- 一、患者様の権利を尊重し、説明と同意に基づいた安心と満足の医療を提供します。
- 一、職員の職業倫理、法令遵守の精神を涵養して、組織を支える人材の育成に努めます。

〽 職業倫理規定 〽

当院職員は、医療人としての社会的使命、職責の重大性を認識し、当院すべての職種に求められる職業倫理を以下のように定めます。

- 一、医療を受ける患者様の権利と人格を常に尊重します。
- 一、ホスピタリティの心で患者様の立場に立ち信頼されるように務めます。
- 一、知識と技術の習得向上のために、常に生涯学習を行います。
- 一、他職種との相互尊重で協力関係を保ちチーム医療を向上させます。
- 一、医療の公共性と安全性を重んじ、法規範を遵守した運営に努めます。

〽 患者様の権利と責務 〽

- 一、公平な医療を受ける権利
- 一、十分な説明を受ける権利
- 一、医療に関して自ら決定する権利
- 一、個人情報保護と開示を求める権利
- 一、当院の最善の医療を受ける権利
- 一、良い治療のために私たち医療従事者と協力する責務

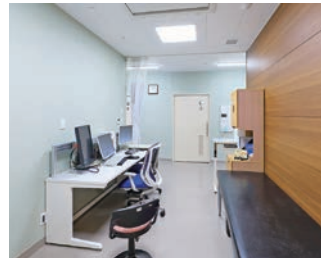
医療法人 秋津会 徳田脳神経外科病院 移転開院



総合待合室



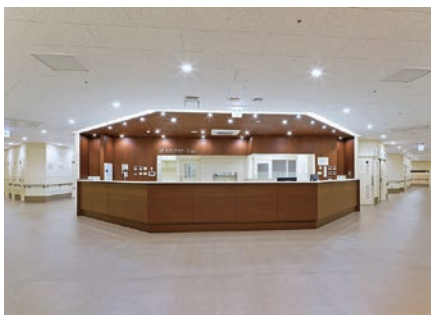
受付・会計



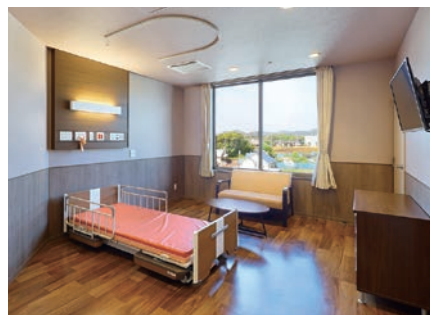
診察室



救急処置室



スタッフステーション



1床特室



2床室



4床室



デイルーム



手術室



リハビリ室



医師
水上秀紀

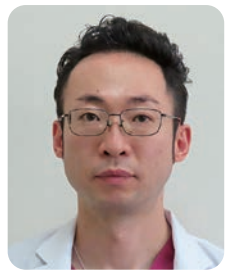
7月より赴任致
しました水上秀紀
(しゅうき)と申し
ます。6月までは
済生会熊本病院に
勤務し、脳神経外
科専門医を取得後、
手術・診療の研鑽

を積んでおりました。まだまだ未熟者ではありま
すが、この新天地でも励んでいこうと思えます。

自己紹介をさせていただきます。出身は熊本県八代
市で、高校・大学・研修医と熊本を出ることはあ
りませんでした。熊本大学脳神経外科に入局後は
熊本大学病院、熊本医療センター、宮崎県立延岡
病院、済生会熊本病院で勤務し、熊本県外での生
活は2回目になります。鹿屋市での生活はまだ数
週間ですが、住みやすく美味しい飲食店が多い印
象です。特に焼肉店が多く、嬉しい限りです(ピ
ールはサッポロ黒ラベル派です)。好きなことは
音楽で、大学時代は軽音部でバンド活動をしてお
りました。今では専らギターの収集が趣味で、
年々本数が増えております。直近では娘の誕生記
念にと、わけのわからない理由をつけて購入しま
した(妻にコンサルト済み)。この度の引越して運
搬が大変でしたので、なるべく数を減らそうと検
討に検討を重ねております。

こちらでの勤務もだいぶ慣れてきました。ご迷
惑をおかけしていることも多いかと思えますが、
先生方、スタッフの皆様にご指導頂き、楽しく仕
事をさせて頂いております。大きな総合病院と比
べて、スタッフ同士の連携がしつかり取れてお
り、患者様を第一に考えた質の高い医療を提供で
きる病院だと感じております。

最後になりますが、大隅半島の脳神経外科の
中核を担う当院で、少しでも力添えできればと思
います。何卒よろしくお願い致します。



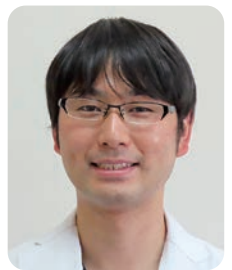
医師
佐々木謙輔

2023年度より
徳田脳神経外科病院に
入職致しました。佐々
木謙輔と申します。琉
球大学出身で初期研修
終了後に熊本大学脳神
経外科に入局し、現在
卒後9年目です。

今回、初めて鹿児島県を訪れました。異動を命じられ
た時はこれまで旅行でも鹿児島県に来たことがなかったの
で、どんな土地か全く想像がつかず不安で堪りませ
んでした。そんな大きな不安の中家探しに鹿屋を訪れた時
徳田脳神経外科病院が菜の花畑の中にボンと一軒家状態
だった光景があまりにも強烈で、私の不安は極限に達しま
した。しかしこの1ヶ月で分かったことは、ここ鹿屋の土
地はとても自然豊かな環境で、山の幸、海の幸、焼酎に恵
まれた非常に心が幸せになる場所だということでした。美
味い酒と旨い肴がないと生きていけない私にとっては、ま
さに桃源郷にいるような心地です。

これまでいわゆる大病院、お金持ち病院で勤務してき
た私にとっては、初めての個人病院勤務です。大学、初期
研修が沖縄県だったこともあり、医療資源に乏しい環境で
いかに医療行為を行うかということにおいては重点的に教
育を受けてきたつもりでしたが、徳田脳神経外科病院で行
われている医療の考え方はそれとはまた種類の異なるもの
だと既に実感しています。

一方でまた、先輩医師の知識や技術力の高さに加え、
看護師や薬剤師、リハビリセラピストなど、co-
workerの知識や技術力も傑出していると感じました。
大隅半島の脳神経外科医療の中心として日々多数の救
急搬送受け入れや手術を行なっているこの病院に勤務し、
優秀な職員の皆さんに囲まれて仕事できることは、非常に
幸せなことだと思います。皆さんに囲まれて働けることに
感謝しながら、自分が身に付けた知識や技術で少しでも鹿
児島の医療の質の向上に貢献できればと考えています。
至らない部分も多々あるかと思いますが、どうぞ御指導
御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



医師
生田源起

本年4月1日よ
り徳田脳神経外科
病院に赴任いたし
ました生田源起と
申します。私は熊
本市出身で、小学
校、中学校、高校、
大学、その後の勤

務先もすべて熊本で、今回、初めての熊本県外で
の生活となります。小学校、中学校はバスケット
ボール、高校、大学はテニスをしていました。英
語部にも所属していたため、少しだけなら英語を
話す事ができます。趣味は海外旅行で今まで20か
国ほど行ったことがあります。お酒は焼酎、特に
芋焼酎が好きなので、鹿児島での生活がとても楽
しみであります(前任地が人吉であったため、米
焼酎も詳しくなりました)。少し自慢話をするな
らば、阪神タイガースの岩貞裕太投手とは同じ小
中学校の同級生で、名簿順も隣でした。プライベ
ートとしては、今回の赴任期間中にテニスを再開
できればと考えているところであります。

当院は外来業務も入院業務も非常に忙しいと聞
いており、大変身の引き締まる思いであります。
スタッフの皆さんをはじめ、病院として働きやす
い雰囲気、環境であり、日々の診療の中で脳外科
医として非常に多くのことを学べると思っております。
私は日本脳卒中学会や日本頭痛学会、日本
小児脳神経外科学会などの学会に所属しており、
原因不明の脳梗塞や市販薬が効かない頭痛など、
原因をとことん調べる事が好きな性分であり、時
間がさける限り患者さんに寄り添い、手を差し伸
べられる医療を行えればと考えております。至ら
ぬ点もあるかと思いますが、一生懸命日々の業務
に励んでまいりますので、何卒よろしくお願い申
し上げます。

当院の診療、手術実績について

令和4年1月1日～12月31日までの
外来・入院患者様の診療、手術実績についてご報告致します。

【診療実績】

	実績	コメント
1日平均外来患者数	80.0名	年間の外来患者様の人数を診療日数で割り、1日平均の外来患者数を示しています。
1日平均入院患者数	(急性期) 31.0人 (回復期) 35.0人	年間の延べ入院患者数を診療日数で割り、1日平均の入院患者数を示しています。
平均在院日数	(急性期) 16.46日	病院全体で1人1人の患者様の平均的な入院日数を示しています。病気を発症した直後の急性期と、リハビリを主に行う回復期では日数に違いがあります。
	(回復期) 60.68日	
平均病床稼働率	(急性期) 92.03%	病床が効率的に稼働しているかを示す指標です。100%に近いほど空床が無い状態となりますが、当院は急性期医療を専門とするため、常に利用可能な病床を確保する必要があります。
	(回復期) 98.32%	
救急患者実績	810名	日中、夜間、休日に救急車を利用して来院された患者数

【手術実績】

全手術件数・・・186件

(主要手術)	実績	コメント
開頭動脈瘤クリッピング術	29件	頭蓋骨を開けて、破裂した動脈瘤もしくは破裂前の動脈瘤の根元を専用のクリップで直接遮断します。
開頭血腫除去術	11件	頭蓋骨を開けて、脳の中の血腫を取り除き、脳への圧迫を防ぎます。(試験開頭含む)
開頭腫瘍摘出術	8件	頭蓋骨を開けて、脳の中の腫瘍を取り除きます。
頭蓋内微小血管減圧術	4件	脳神経を圧迫する脳動脈を移動、減圧させることで顔面の強い痛み(三叉神経痛)やピクツキ(顔面痙攣)を治す手術です。
バイパス術等	7件	脳動脈の狭窄・閉塞による血流低下に対して、頭皮動脈などを用いたバイパス術を行います。
経皮的脳血栓回収術	5件	カテーテルを用いて脳血管を閉塞している血栓を除去する手術です。
頸動脈内膜剥離術	22件	細くなった頸動脈を直接切開し、動脈硬化で厚くなった血管壁(内膜)を取り除く手術です。
穿頭血腫除去術	40件	局所麻酔下で頭蓋骨に小さな穴をあけて、血腫を除去します。
水頭症手術	26件	脳室やくも膜下腔に貯留した脳脊髄液を、体外または腹腔、心臓内に排出させる方法です。
脊椎関連手術	13件	脊椎の前方あるいは後方よりアプローチし、病変を除去あるいはその圧迫を解消する手術です。

令和4年度 セーフティマネジメント部会の活動報告

令和4年度の医療安全活動と多職種によるセーフティマネジメント部会4チーム活動報告と今後の取り組みというテーマで研修を行いました。



医療安全活動の報告



「積極的かつ早期報告は医療安全や病院の質向上につながる」ということを目的に医療安全活動に取り組んでいます。令和4年のインシデント報告は、361件(転倒転落63件、ドレーンチューブ79件、薬剤80件)ありました。転倒転落の中には、床頭台のマスクやタオルを取ろうとして転倒され、右腕の骨折で転院・手術になった事例がありました。退院前の不安や、コロナ感染対策によるベッド周囲の環境変化でそれまでできていた動作ができなかったこと等が要因にあげられました。このような報告の適切な評価・分析によって再発防止対策を立案し、院内への周知・情報共有やモニタリングを行うことで重大な医療事故を防止できるよう今後も取り組んでいきます。

薬剤防止対策チーム

昨年作成した「内服薬手順書の評価と見直し」や「医師の指示受け漏れ防止」「各病棟へのラウンド」を行って、誤薬ゼロを目指した取組みを報告しました。また、内服薬関連事故防止に向けて患者様の内服薬確認中は、集中して作業ができるよう声掛けをしないと呼びかけました。

また、医師オーダーの内服処方漏れないように、医師記録を一画面で確認できるシステムを試験的に導入し指示漏れがなくなったという報告をしました。そして作成した内服薬手順書通りに実践されているかのラウンド結果を報告しました。入院期間が長くなると患者様の顔と名前を憶えて氏名確認の作業が不十分となっている傾向がわかりました。改めて氏名確認を確実にすること、ネームバンド装着部位の確認しやすい場所への変更、継続的なラウンドを実施し、継続されているかを確認していくことが誤薬防止につながるという報告をしました。今後も手順書が活用され、誤薬ゼロとなるよう引き続き活動していきます。



転倒転落防止対策チーム



転倒転落報告事例の情報収集や、院内ラウンドにより転倒転落につながる環境要因のリスクを減らすように働きかけています。令和4年の報告書やその他のデータから当院における転倒につながる危険因子を検討し、今後の転倒・転落防止に向けて当院が取り組むべきことを発表しました。

報告書の内容から、転倒転落件数が減少していること、リスクは①病棟内②発見③危険度が高い方が高いと考えられました。年間目標に「多職種連携し、ハード・ソフトの両面から転倒・転落件数の予防につとめる」としていました。ハード面では転落防止の措置として窓の開放制限措置の破損や見落としを発見し依頼することができましたが、十分な連携を図ることができませんでした。

次年度は、転倒転落の詳細な分析ができるよう項目追加の提案や、病棟、リハビリ、委員会などと連携し転倒転落予防に貢献していきたいと発表しました。

5S・KYT(危険予知トレーニング)活動チーム

年間目標「自発的な5Sの実践をフォローアップ」「報告事例に基づいたKYTを進め全体で共有する」とし、月1回の院内ラウンド実施、改善箇所の指摘と改善アドバイスや啓発を行い自分たちで改善に向かうようフォローしました。

取り組みとしては、使用後のシーツ等を入れるビニール袋の収納ケースを作成・設置することで1枚1枚たたんでいた作業がなくなりました。大きな収納棚を作成・設置し、整理・整頓ができるようになっただけでなく片付け・探すのが短くなったという事例などを紹介しました。

また、次年度計画として、新病院への移転後もきれいな病院を保持できるような取り組みと、KYT(危険予知トレーニング)の見直しを行って、病院全体で察知力を高め、患者様へ安心・安全な医療を提供できるようなトレーニングを行っていかうと考えています。



身体抑制対策活動チーム



身体抑制については、院内で初めての身体抑制に関する活動報告でした。まずは身体抑制についての定義や当院での抑制帯の種類、抑制状況、身体抑制が認められる3要件(厚労省)等の説明を行いました。

また、院内で身体抑制をされた患者様がどのような取り組みによって、身体抑制を解除することができたかを紹介しました。特に行動観察、記録やカンファレンス等による情報共有、繰り返し評価を行って解除できるタイミングや時間等を検討していました。意識や理解力はあるか、危険な行動はないか、ナースコールは押せるか、歩行が安定しているかなど、解除に至った理由は患者様によって異なりました。安全で快適な入院生活を送って頂くためには、身体抑制しない事が一番なのですが、やむを得ず一時的な身体抑制を行う場合は、繰り返し説明し、理解・協力を頂きながら、本当に必要な抑制なのかを繰り返し評価・情報共有しながら今後も取り組んで参ります。

今後の課題は、身体抑制中の医師記録と多職種によるカンファレンス記録の充実を行い、さらなる解除へ向けた取り組みを行っていきます。

〈最後に〉 新病院に移転し、建物や設備が新しくなって気持ちも新たに心機一転・・・といきたいところですが、医療安全対策、感染防止対策と日々新たな発見があります。そのたびに一つ一つ基準や旧病院で作成した対策マニュアルの確認と見直しを行うようにしています。今後も、患者様が安全な入院生活を送れること、職員が安全な医療を提供できるよう常に精進して参ります。

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日より、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが、「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)」から「5類感染症」に移行されました。

今後の医療提供体制は、基本的に季節性インフルエンザ等の他の感染症と同様になります。

県内では、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症が増加しています。

感染防止対策は、個人や事業者の判断、自主的取組が基本となります。
次の点について、両疾患の感染対策に取り組んで下さい。

- ①日頃から体温や健康状態のセルフチェックを心掛けてください。
- ②手洗い等の手指衛生、定期的な換気、適切なマスク着脱など基本的な感染対策を行って下さい。
- ③発熱、咳などの症状がある時は外出や移動を控えてください。



6月22日院内研修会開催
(第5類感染症について)

◆基本的感染対策

1. マスク着用・・・個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねる。

高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスク着用を推奨

- ①周囲の方に感染を広げないため・・・受診時や医療機関等を訪問、公共交通機関を使用する時
- ②自分自身を感染から守るために・・・重症化リスクの高い方、高齢者、妊婦等が混雑した場所に行く時

2. 外出について

新型コロナ陽性者(有症状)・・・発症後5日間経過、かつ症状軽快から24時間経過まで外出を控える。

新型コロナ陽性者(無症状)・・・検査採取日を発症0日として5日間経過するまで外出を控える

新型コロナ陽性者と濃厚接触・・・制限なし

◆家族が新型コロナウイルスに感染した時

発症後5日間かつ症状軽快して24時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから外出を控える
また、10日間が経過するまではマスク着用し、周りの方にうつさないよう配慮しましょう。

<家庭でできる感染対策>

1. 窓を開けて換気・・・定期的に換気をしましょう。共用スペースや他の部屋も頻繁に換気しましょう
2. 部屋を分ける・・・可能な範囲で部屋を分けましょう。世話をする方は出来るだけ限られた方でを行い、接触時間をなるべく短く(心臓、肺、肝臓に持病のある方、糖尿病、免疫の低下した方、妊婦などが感染者の世話をするのは避けましょう)。
3. マスク着用・・・同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう。
(感染した家族に接する時、外出する時はマスクを正しく着用しましょう。)
4. 手洗い等の手指衛生・・・こまめに手洗いしましょう。



感染管理者 持留美穂子

新入職員入社式、オリエンテーションを行いました。

4月3日、9名の新入職員を迎え、入社式が行われました。

感染対策を行いながら、理事長や院長挨拶の後、代表者へ辞令が交付されました。

入社式後は各部の紹介や研修等も行われ、緊張や不安から若干固い表情も見られましたが、熱心に耳を傾けていました。

早く職場に慣れて、一緒に頑張っていきましょう。



辞令交付



感染対策についての研修

新入職員を紹介します

所属 看護部
2階病棟 看護師

氏名 有留真優



趣味・特技 映画鑑賞

ひとこと

わからないこと、不安なことばかりですが、一生懸命頑張りたいです。ご指導よろしくお願い致します。

所属 看護部
2階病棟 看護師

氏名 米盛汐音



趣味・特技 音楽を聞くこと

ひとこと

患者様に寄り添える看護師になりたいと思います。よろしくお願いします。

所属 2階病棟 看護助手

氏名 水俣潮里



趣味・特技 特技は、16年間続けてきた柔道です。大学時代は日本一を経験することができました。

ひとこと

3月1日入職しました看護助手の水俣です。慣れない環境ではありますが、他職種の先輩方と一緒に患者様に寄りそうケアをしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

所属 リハビリテーション科
理学療法士

氏名 吉留 諒



趣味・特技

趣味は、音楽鑑賞と料理をする事です。特技は、絵を描く事と手先が器用なので折り紙なども得意です。

ひとこと

介護職から一転、理学療法士になりました。わからない事も多いですが、これから頑張っていきたいと思っています。

所属 リハビリテーション室
言語聴覚士

氏名 小城香菜恵



趣味・特技 ドライブ

ひとこと

早く慣れるように頑張りたいと思います。話し好きなので早くみなさんの顔と名前を覚えていきたいなと思います。よろしくお願いします。

所属 栄養科

氏名 榎園知恵



趣味・特技 韓国ドラマ鑑賞
カフェ巡り

ひとこと

一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

所属 薬局

氏名 初瀬貴祐



趣味・特技 サッカー観戦
神社巡り

ひとこと

出身地の霧島市よりもコスパの良い鹿屋市内居酒屋で飲む時が最高に好きです。前向きに頑張ります。

所属 薬剤科

氏名 河原理恵



趣味・特技 料理をすること
食べること

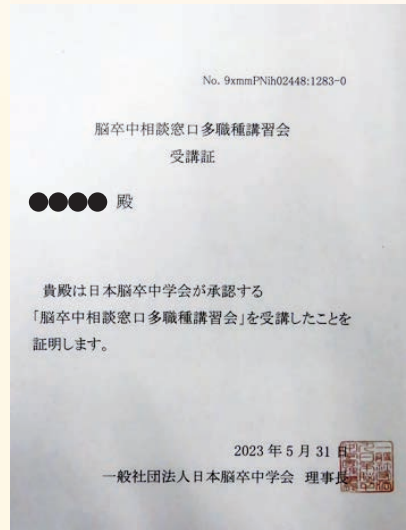
ひとこと

御迷惑をおかけしないよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

脳卒中療養相談士について

脳卒中は急性期治療を乗り越えても後遺症で苦しんだり、再発の危機にさらされる可能性の高い疾患です。そのため、回復期あるいは維持期(生活期)の方がむしろ時間的に長く、患者様と御家族にその時々にあった情報提供、相談支援を行うことが重要です。

当院は一次脳卒中センター(PSC)として認定を受けておりますが、日本脳卒中学会ではこのPSCコア施設に「脳卒中相談窓口」を設置し、情報提供や相談支援を行うこととなりました。脳卒中相談窓口では、脳卒中専門医が責任者となり、脳卒中に精通した認定看護師や医療ソーシャルワーカーが脳卒中療養相談士として中心的役割を担いますが、当院では医師や看護師、理学療法士、社会福祉士など13名の職員が講習を受け脳卒中療養相談士となりました。



新病院にもツバメの巣!!

毎年、当院玄関にはツバメが巣を作っています。この度新病院移転となりましたが…、やはり今年も巣を作りました。職員通用口の上部に立派な巣が完成し、ヒナが巣立っていきました。昔からツバメは幸せを運んでくれる、ツバメの巣は幸運の象徴、ツバメの巣がある家は縁起が良いと言われます。病院に関わる全ての方々に幸運がもたらされることを願います。



「脳卒中相談窓口」は地域医療連携室にあります。



診療予約についてお知らせ

かねてより診療時には長時間お待たせして、大変ご迷惑をおかけしております。当院では、外来での待ち時間を極力短くするために、再来診察のみを予約制としております。外来診療終了時に次回の受診予約を入れますので、医師と相談の上、日時を決めて下さい。その際、診療予約票をお渡ししますので、次回の診療時にご持参ください。なお、担当医師の希望がありましたら、遠慮無く外来看護師へ声をかけてください。

病院長

○当院では下記の通り曜日別に来外診療担当医が変わります。

外来診療予定表

(2023.7.1)

	月	火	水	木	金	土
外来診療担当医師	徳田	徳田	諸木	徳田	徳田	受付前の外来診療 担当医表にてお知らせいたします
	諸木	諸木	橋口	諸木	諸木	
	橋口	田中	田中	橋口(午前)	橋口	
	生田	水上	佐々木(午前)	水上	生田	
		佐々木(午後)	生田(午後)		生田	

*手術、検査などにより変更される場合があります。



医療法人 秋津会

徳田脳神経外科病院

とくだ居宅介護支援事業所

〒893-0011 鹿児島県鹿屋市打馬1-11248-1
TEL.0994-44-1119(代)/FAX.0994-40-3155
<https://tokuda-hp.com/>

診療時間

平日 午前8:30~12:00 午後2:00~5:30
土曜 午前8:30~12:30 (土曜日午後・日曜日・祝祭日は休診)

面会

※救急は、24時間365日
いつでも対応いたします。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、入院患者様との面会は禁止です。

洗濯物やお荷物の受け渡しが必要な場合は、スタッフがお預かり致します。

【荷物受取時間】10:00~17:00
(平日月~金曜日)※緊急入院の場合は適宜対応

